

奄美方言の数を表す接尾辞：沖永良部島知名町の場合

久野, マリ子

(出版者 / Publisher)

法政大学沖縄文化研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

琉球の方言 / 琉球の方言

(巻 / Volume)

10

(開始ページ / Start Page)

76

(終了ページ / End Page)

88

(発行年 / Year)

1986-03-15

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00012653>

奄美方言の数を表す接尾辞

—沖永良部島知名町の場合—

国学院大学日本文化研究所・講師

久野マリ子

沖永良部島知名町の、数を表す接尾辞（順序数詞）を示す。

日本語の中でも数を表す接尾辞（順序数詞）は、豊富な種類をもつことで知られている。

知名方言の数を表す接尾辞は、共通語のそれとは異なる体系をもっている。

その特徴は、「匹、枚、本…」などの接尾辞が用いられない他、方言の特色を表す接尾辞が用いられることである。

今回は、資料のみを示す。

○ 調査地点

鹿児島県大島郡知名町瀬利覚(セリカク)

○ 調査年月日

昭和59年7月21日～31日

昭和60年3月12日～14日

○ 話者

永野 池敏氏 明治42年11月5日生まれ
(元公務員)

瀬戸口秀直氏 大正元年10月25日生まれ
(農業)

植田 中生氏 大正元年10月20日生まれ
(農業)

宗岡 里吉氏 大正元年9月13日生まれ
(眼鏡店経営)

瀬戸口ミツ氏 明治37年8月5日生まれ
(農業)

川畑 ツル氏 明治39年10月21日生まれ
(農業)

矢上 ハル氏 明治43年1月3日生まれ
(農業)

1. 和語系の数え方

和語系の数え方による、一から二十までの数え方を示す。

知名方言では、十以上になると「とう・ひとつ」という語構成で十九までを数える。二十以上になると、共通語と同様に漢語系の数え方が用いられる。

知名方言では、和語系の数につく数を表す接尾辞に、方言の特色のあるものが多くみられる。

(1)

¹ティーチ [ti:tʃi] ・ティーチ [ti:tʃi] (一つ)

ターチ [ta:tʃi] (二つ)

ミーチ [mi:tʃi] (三つ)

ユーチ [ju:tʃi] (四つ)

¹イチチー [ʔitʃi:ʃi] (五つ)

ムーチ [mu:tʃi] (六つ)

¹ナナチー [nanatʃi:] ・¹ナナチ [nanatʃi] (七つ)

ヤーチ [ja:tʃi] (八つ)

¹クヌチー [kunutʃi:] ・¹クヌチ [kunutʃi] (九つ)

- ¹トゥー [tu:] ・トゥー [tu:] (十)
 トゥーティ¹ーチ [tu:tɪtʃi] (十一)
 トゥーターチ [tu:tɑ:tʃi] (十二)
¹トゥーミーチ [tu:mɪtʃi] (十三)
 トゥーユーチ [tu:jutʃi] (十四)
¹トゥーイチチ [tu:itʃitʃi] (十五)
 トゥームーチ [tu:mutʃi] (十六)
¹トゥーグヌチー [tu:kunutʃi:] (十九)
 ニジュー [niʒu:] (二十)
- (2) 共通語と同じ和語の数え方も用いられる。
- ヒ¹ー [çi:] (一)
 フ¹ー [ɸu:] (二)
 ミ¹ー [mi:] (三)
 ヨ¹ー [jō:] (四)
 イ¹チ [ʔitʃi] (五)
 ム¹ー [mu:] (六)
 ナ¹ナー [nana:] (七)
 ヤ¹ー [ja:] (八)
 ク¹ヌ [kunu] (九)
 トゥー [tu:] (十)
- これ以上は、数えない。あとは、漢語系の数え方を用いる。

2. 和語系の数につく数を表す接尾辞

2.1 知名方言の特色

知名方言の特色の一つとしてあげられるのは、共通語で用いられる接尾辞のかわりに、一つ、二つ…で数えるものが多いことである。次に、その傾向について概略を述べよう。

- 1) 共通語では、ふつう人間の大きさを基準に、人間よりも大きい動物には「とう(頭)」小さいものには「ひき(匹)」が使われる。

知名方言では、ティーチ(一つ)、ターチ(二つ)で数えられる。但し、ファートゥ(鳥類一般)は、チュファ(一羽)、タファ(二羽)と数える。

- 2) 共通語では、細長いものを数える場合には、「ほん(本)」が用いられるが、知名方言では、ティーチ(一つ)、ターチ(二つ)で数えるものが多い。但し、サジ(外出着用の帯)は、チュサジ(一本)、タサジ(二本)と数える。
- 3) 共通語では、紙や布などの薄いものを数える場合には、「まい(枚)」が用いられるが、知名方言では、ティーチ(一つ)、ターチ(二つ)で数えるものが多い。
- 4) 物を数える単位として用いられる、「こ(個)」に該当するものには、知名方言の特色のある数え方が多くみられる。

知名方言では、共通語では接尾辞をつけて教える対象に、何も接尾辞をつけずに数えるものが多い。以下、確認した対象は次の通り。

- (1) 魚。牛。豚。山羊。犬。猫。虫。
- (2) 大根。人参。里芋。ねぎ。きゅうり。かぼちゃ。
- (3) 着物。かんざし。くし。ひも。
- (4) 酒がめ。空の皿。鍋。
- (5) 棒。紙。
- (6) 祭り。宴会。
- (1)~(6)は、次のように数えられる。

- ティーチ [tɪtʃi] (一つ)
 ターチ [tɑ:tʃi] (二つ)
 ミーチ [mɪtʃi] (三つ)
 ユーチ [jutʃi] (四つ)
¹イチチー [ʔitʃitʃi:] (五つ)

ムーチ [mʊ:tʃi] (六つ)

¹ナナチ [nanatʃi] (七つ)

ヤーチ [jɑ:tʃi] (八つ)

¹クヌチ [kunutʃi] (九つ)

トゥー [tu:] (十)

2.2 時間を表す接尾辞

1) 年の数え方 (~年)

年を、一年、二年…と数える場合。

「十三回忌」という場合の、¹トゥットゥー¹ミチュは、「十年・三年」という語構成で、発想法に知名方言の特色がみられる。三十三年の法要は、サンジュ¹ーサンキ [sandʒu:sanjki] (三十三忌) という。

¹チュトゥー [tʃutu:] (一年)

タトゥー [tatu:] (二年)

¹ミッチュ [mittʃu] (三年)

ユトゥー [jutu:] (四年)

イトゥー [ʔittu:] (五年)

ムトゥー [muttu:] (六年)

¹ナナトゥー [nanatu:] (七年)

ヤットゥー [jattu:] (八年)

¹クヌトゥー [kunutu:] (九年)

トゥットゥー [tuttu:] (十年)

2) 月の数え方 (~月)

月を、ひとつき、ふたつき…と数える場合。

¹チュチキ [tʃutʃiki] (一月)

タチキ [tatʃiki] (二月)

ミチキ [mitʃiki] (三月)

ユチキ [jutʃiki] (四月)

イチチキ [ʔitʃitʃiki] (五月)

ムチキ [mutʃiki] (六月)

ナナチキ [nanatʃiki] (七月)

¹ヤチキ [jatʃiki] (八月)

¹クヌチキ [kunutʃiki] (九月)

トゥチキ [tutʃiki] (十月)

トゥーチュチキ [tu:tʃutʃiki] (十一月)

トゥータチキ [tu:tatʃiki] (十二月)

3) 日にちの数え方

暦の上での日にちを、ついたち、ふつか…と数える場合。

¹チキタチ [tʃikitʃi] (一日)

¹フチカ [ʔutʃika] (二日)

¹ミッキヤー [mikkja:] (三日)

ヤー [ja:] (四日)

¹イチカー [ʔitʃika:] (五日)

¹ムイカ [muika] (六日)

¹ナンカー [naŋka:] (七日)

¹ヤファー [jaʔa:] (八日)

¹クンカー [kuŋka:] (九日)

ター [ta:] (十日)

4) 日数の数え方 (~日間)

一日間、二日間…と数える場合。

チー [tʃi:] (一日間)

¹フチカ [ʔutʃika] (二日間)

¹ミッキヤー [mikkja:] (三日間)

ヤー [ja:] (四日間)

¹イチカー [ʔitʃika:] (五日間)

ミヤー [mja:] (六日間)

¹ナンカー [naŋka:] (七日間)

¹ヤファー [jaʔa:] (八日間)

¹クンカー [kuŋka:] (九日間)

ター [ta:] (十日間)

¹ファチカ [ʔatʃika] ・ ¹ハチカ [hatʃika] (二十日間)

ターハチカ [ta:hatʃika] (二十日間)。

語構成は「ふた・はつか」か。

5) 夜の数え方 (~晩)

一晩、二晩…と数える場合。

- ¹チューユル [tʃuːjuru] ・ ¹チイル [tʃiiru]
 (一晩)
- ¹タユル [tajuːru] ・ ¹タイル [taiːru] (二晩)
 ミユル [miːjuru] (三晩)
 ユユル [juːjuru] (四晩)
- ¹イチイル [ʔitʃiiru] (五晩)
- ¹ムユル [muːjuru] (六晩)
- ¹ナナユル [nanajuːru] (七晩)
- ¹ヤユル [jajuːru] (八晩)
- ¹クヌユル [kunuːjuru] (九晩)
- ¹トゥユル [tuːjuru] (十晩)

2.3 距離を表す接尾辞

1) 海深や縄の長さの数え方 (～尋)

海の深さや、縄の長さを、一尋、二尋…と数えてはかる場合。

- ¹チュヒル [tʃuːçiru] (一ひろ)
 タヒル [taːçiru] (二ひろ)
 ミヒル [miːçiru] (三ひろ)
 ユヒル [juːçiru] (四ひろ)
- ¹イチヒル [ʔitʃiçiru] (五ひろ)
 ムヒル [muːçiru] (六ひろ)
- ¹ナナヒル [nanaçiru] (七ひろ)
 ヤヒル [jaːçiru] (八ひろ)
 クヌヒル [kunuçiru] (九ひろ)
 トゥヒル [tuːçiru] (十ひろ)
 トゥーチュヒル [tuːtʃuːçiru] (十一ひろ)

2) 距離や歩数の数え方 (～歩)

距離を一步、二歩…とはかる、幼児が歩きはじめた頃、一步、二歩…と数える場合。

- ¹チュマタ [tʃumata] (一股)
¹タマタ [tamata] (二股)
¹ミマタ [mimata] (三股)
 ユマタ [jumata] (四股)
 イチマタ [ʔitʃimata] (五股)

- ムマタ [mumata] (六股)
¹ナナマタ [nanamata] (七股)
 ヤマタ [jamata] (八股)
¹クヌマタ [kunumata] (九股)
 トゥマタ [tumata] (十股)
 トゥーチマタ [tuːtʃumata] (十一股)

2.4 量を表す接尾辞

1) 粟、米などの量の数え方 (～つかみ)

粟、麦、米などの粒で、片手でつかめる分量を、一つかみ、二つかみ…と数える。

- ¹チュチカミ [tʃutʃikami] (一つかみ)
¹タチカミ [tatʃikami] (二つかみ)
¹ミチカミ [mitʃikami] (三つかみ)
¹ユチカミ [jutʃikami] (四つかみ)
¹イチチカミ [ʔitʃitʃikami] (五つかみ)
 ムチカミ [mutʃikami] (六つかみ)
¹ナナチカミ [nanatʃikami] (七つかみ)
¹ヤチカミ [jatʃikami] (八つかみ)
¹クヌチカミ [kunutʃikami] (九つかみ)
 トウチカミ [tuːtʃikami] (十つかみ)

2) 粒の数え方 (～粒)

米粒やかぼちゃの種などの小さな粒を、一粒、二粒…と数える場合。

- チュチブ [tʃutʃibu] (一粒)
 タチブ [tatʃibu] (二粒)
 ミチブ [mitʃibu] (三粒)
 ユチブ [jutʃibu] (四粒)
¹イチチブ [ʔitʃitʃibu] (五粒)
 ムチブ [mutʃibu] (六粒)
¹ナナチブ [nanatʃibu] (七粒)
 ヤチブ [jatʃibu] (八粒)
¹クヌチブ [kunutʃibu] (九粒)
¹トゥチブ [tuːtʃibu] (十粒)

3) 稲や草の束の数え方 (～束)

稲束や草束を、一束、二束…と数える場合。この数え方が、一番小さい単位となる。

- ¹チュチカン [tʃutʃikaŋ] (一束)
- ¹タチカン [tatʃikaŋ] (二束)
- ミチカン [mitʃikaŋ] (三束)
- ユチカン [jutʃikaŋ] (四束)
- イチチカン [ʔitʃitʃikaŋ] (五束)
- ムチカン [mutʃikaŋ] (六束)
- ¹ナナチカ¹ン [nanatʃikaŋ] (七束)
- ヤチカ¹ン [jatʃikaŋ] (八束)
- ¹クヌチカ¹ン [kunutʃikaŋ] (九束)
- トゥチカン [tutʃikaŋ] (十束)

4) 稲の束の数え方

稲の束、チュチカン(一束)が3回集まると、¹チュニギとなる。

- ¹チュニギ [tʃunigi] (一にぎ)
- ¹タニギ [tanigi] (二にぎ)
- ミニギ [minigi] (三にぎ)
- ユニギ [junigi] (四にぎ)
- ¹イチヌギ [ʔitʃinugi] (五にぎ)
- ¹ムヌギ [munugi] (六にぎ)
- ¹ナナヌギ [nananugi] (七にぎ)
- ¹ヤヌギ [janugi] (八にぎ)
- ¹クヌヌギ [kununugi] (九にぎ)
- トゥヌギ [tunugi] ・ トゥニギ [tunigi] (十にぎ)

5) 稲の束の数え方

砂糖黍、稲、麦などの束の数え方。¹チュニギが10回分集まると、チュマ¹ルキとなる。

- チュマ¹ルキ [tʃumaruki] (一まるき)
- タマ¹ルキ [tamaruki] (二まるき)
- ミマ¹ルキ [mimaruki] (三まるき)
- ユマ¹ルキ [jumaruki] (四まるき)
- ¹イチマ¹ルキ [ʔitʃimaruki] (五まるき)

ムマ¹ルキ [mumaruki] (六まるき)

- ¹ナナマ¹ルキ [nanamaruki] (七まるき)
- ヤマ¹ルキ [jamaruki] (八まるき)
- クヌマルキ [kunumaruki] (九まるき)
- トゥマルキ [tumaruki] (十まるき)

6) 草の束の数え方(～抱え)

牛のえさにする草の束の数え方。稲、麦、砂糖黍などの束には用いない。

- ¹チュダキ [tʃudaki] (一抱え)
- タダキ [tadaki] (二抱え)
- ミダキ [midaki] (三抱え)
- ユダキ [judaki] (四抱え)
- イチダキ [ʔitʃidaki] (五抱え)
- ムダキ [mudaki] (六抱え)
- ¹ナナダキ [nanadaki] (七抱え)
- ヤダキ [jadaki] (八抱え)
- クヌダキ [kunudaki] (九抱え)
- トゥダキ [tudaki] (十抱え)

7) 百合根の数え方

百合根を箱に入れるときの数え方。5個でヒト¹ヨとなる。戦前の数え方で、50個まで数えられる。百合根は沖永良部島の重要な産物の一つで観賞用として出荷される。百合根を箱詰めにするさい、歌うように節をつけながら百合根を数えたという。

- ヒト¹ヨ [çitojo] (一よ)
- ファタ¹ヨ [ʃatajo] (二よ)
- ミツツ¹ヨ [mittsujo] (三つよ)
- ヨツツ¹ヨ [jottsujo] (四つよ)
- イツツ¹ヨ [ʔitsutsujo] (五つよ)
- ムツツ¹ヨ [muttsujo] (六つよ)
- ナナツ¹ヨ [nanatsujo] (七つよ)
- ヤツツ¹ヨ [jatsujo] (八よ)
- ココノツツ¹ヨ [kokonotsujo] (九つよ)
- ト¹ヨ [tojo] (十よ)

2.5 人数を表す接尾辞

1) 人の数え方(～人)

人間を一人, 二人…と数える場合。三人以上になっても「さん・たり」, 「よん・たり」という語構成になっている。

- ¹チュイ [tʃui] (一人)
 ターイ [tai] (二人)
¹ミッチェー [mittʃe:] (三人)
¹ユッテー [jutte:] (四人)
¹イチテー [ʔitʃite:] (五人)
¹ムッテー [mutte:] (六人)
¹ナナテー [nanate:] (七人)
¹ヤッテー [jatte:] (八人)
¹クヌテー [kunate:] (九人)
¹トゥテー [tute:] ・¹ジュテー [dʒute:] (十人)
¹トゥーチュイ [tu:tʃui] (十一人)
 トゥータイ [tu:tai] (十二人)
¹トゥーミチェー [tu:mitʃe:] (十三人)
¹トゥーユッテー [tu:jutte:] (十四人)
 トゥーイ¹チテー [tu:ʔitʃite:] (十五人)
 トゥームッテー [tu:mutte:] (十六人)
 トゥー¹ナ¹ナテー [tu:nanate:] (十七人)
¹トゥーヤッテー [tu:jatte:] (十八人)
 トゥー¹クヌテ¹ー [tu:kunate:] (十九人)
 ニジュー [ni^oʒu:] (二十人)

2) 丁寧に人を数える場合(～方)

偉い人や, 尊敬すべき人を丁寧に, お一方, お二方…と数える場合。

- チュトゥ¹クル [tʃutukuru] (一かた)
 タトゥクル [tatukuru] (二かた)
 ミチュクル [mitʃukuru] (三かた)
 ユトゥクル [jutukuru] (四かた)
¹イチトゥクル [ʔitʃitukuru] (五かた)

ムトゥクル [mutukuru] (六かた)

- ¹ナナトゥクル [nanatukuru] (七かた)
 ヤトゥクル [jatukuru] (八かた)
 クヌトゥクル [kunutukuru] (九かた)
 トゥトゥクル [tutukuru] (十かた)

3) 家族の数え方(～軒)

きょうだいが分家した場合の家族を, 一家族, 二家族…と数える場合。

- ¹チュッキネ [tʃukine:] (一軒)
¹タキネ [take:] (二軒)
¹ミキネ [miki:] (三軒)
¹ユキネ [juki:] (四軒)
 イチキネ [ʔitʃikine:] (五軒)
 ムキネ [muki:] (六軒)
¹ナナキネ [nanakine:] (七軒)
¹ヤキネ [jaki:] (八軒)
 クヌキネ [kunate:] (九軒)
 トッキネ [tuki:] (十軒)
 トゥーチュキネ [tu:tʃukine:] (十一軒)
¹トゥータキネ [tu:taki:] (十二軒)
 トゥーミキネ [tu:miki:] (十三軒)
¹トゥーユキネ [tu:juki:] (十四軒)
 トゥーイチキネ [tu:ʔitʃikine:] (十五軒)
 トゥームキネ [tu:muki:] (十六軒)
 トゥーナナキネ [tu:nanakine:] (十七軒)
 トゥーヤキネ [tu:jaki:] (十八軒)
 トゥークヌキネ [tu:kunate:] (十九軒)
 ニジューキネ [ni^oʒukine:] (二十軒)

4) 世帯の数え方(～世帯)

家族を, 一世帯, 二世帯…と数える場合。チュキネ…とほゞ同じように用いられるという。

- ¹チュカブ [tʃukabu] (一株)
¹タカブ [takabu] (二株)
 ミカブ [mikabu] (三株)

- ユカブ [jukabu] (四株)
 イチカブ [ʔitʃikabu] (五株)
 ムカブ [mukabu] (六株)
¹ナナカブ [nanakabu] (七株)
¹ヤカブ [jakabu] (八株)
¹クヌカブ [kunukabu] (九株)
 トウカブ [tukabu] (十株)
 トウチュカブ [tu:ʃukabu] (十一株)
 トウタカブ [tu:takabu] (十二株)
 トウミカブ [tu:mikabu] (十三株)
 トウユカブ [tu:jukabu] (十四株)
 トウイチカブ [tu:itʃikabu] (十五株)
¹トウムカブ [tu:mukabu] (十六株)
 トウナナカブ [tunanakabu] (十七株)
 トウ¹ヤカブ [tu:jakabu] (十八株)
 トウ¹クヌカブ [tu:kunukabu] (十九株)
¹ニジッカブ [ni^dʒikkabu] (二十株)
¹ヒヤッカブ [çakkabu] (百株)
 十八株、十九株の場合は、二語意識が働いたものとみる。

2.6 場所を表す接尾辞

1) 場所の数え方 (～ヶ所)

入口などを、一ヶ所、二ヶ所…と数える場合。

- チュホー [tʃuho:] (一ヶ所)
 タホー [taho:] (二ヶ所)
 ミホー [miho:] (三ヶ所)
 ユホー [juho:] (四ヶ所)
 イチホー [ʔitʃiho:] (五ヶ所)
 ムホー [muho:] (六ヶ所)
 ナナホー [nanaho:] (七ヶ所)
 ヤホー [jaho:] (八ヶ所)
¹クヌホー [kunuho:] (九ヶ所)
 トウホー [tuho:] (十ヶ所)

2) 田んぼの数え方

- ¹チュマシ [tʃumafi] (一枚)
 タマシ [tamafi] (二枚)
 ミマシ [mimafi] (四枚)
¹イチマシ [ʔitʃimafi] (五枚)
 ムマシ [mumafi] (六枚)
¹ナナマシ¹ー [nanamafi:] (七枚)
 ヤマシ [jamafi] (八枚)
¹クヌマシ [kunumafi] (九枚)
 トウマシ [tumafi] (十枚)
¹トウチュマシ [tu:ʃumafi] (十一枚)

3) 畑の数え方 (～切)

分家をする時に分ける小さな畑を、キリという。豆腐などの一切、二切…もこのように数える。

- ¹チュッキリ [tʃukkiri] (一きれ)
¹タッキリ [takkiri] (二きれ)
 ミッキリ [mikkiri] (三きれ)
¹ユッキリ [jukkiri] (四きれ)
¹イチキリ [ʔitʃikiri] (五きれ)
 ムッキリ [mukkiri] (六きれ)
¹ナナキリ [nanakiri] (七きれ)
 ヤッキリ [jakkiri] (八きれ)
¹クヌキリ [kunukiri] (九きれ)
 トウッキリ [tukkiri] (十きれ)
 トウチュッキリ [tu:ʃukkiri] (十一きれ)

4) 畑のうねの数え方。

- チュマニ [tʃumani] (一うね)
 タマニ [tamani] (二うね)
 ミマニ [mimani] (三うね)
 ユマニ [jumani] (四うね)
¹イチマニ [ʔitʃimani] (五うね)
 ムマニ [mumani] (六うね)
¹ナナマニ [nanamani] (七うね)
 ヤマニ [jamani] (八うね)

クヌ¹マニ [kunu¹mani] (九うね)
 トウマニ [tu¹mani] (十うね)
 トウーチュマニ [tu:tu¹mani] (十一うね)

2.7 回数を表す接尾辞

1) 回数の数え方 (～回)

¹チュッケー [tʃukke:] (一回)
 タッケ [takke] (二回)
 ミッケ [mikke] (三回)
 ユッケ [jukke] (四回)
¹イチケ [ʔitʃikè] (五回)
¹ムッケ [mukke] (六回)
¹ナナケ [nanake] (七回)
 ヤッケー [jakke:] (八回)
¹クヌケ [kunuke] (九回)
 トウッケ [tukke] (十回)
 トウーチュッケ [tu:tu¹jukke] (十一回)

2) 鉢でうつ回数の数え方 (～鉢)。

一鉢、二鉢と、鉢でうつ回数を数える場合。

¹チュッコ¹イ [tʃukk¹oi] (一鉢)
¹タッコイ [takk¹oi] (二鉢)
¹ミッコイ [mikk¹oi] (三鉢)
¹ユッコイ [juk¹oi] (四鉢)
¹イチコイ [ʔitʃik¹oi] (五鉢)
¹ムッコイ [mukk¹oi] (六鉢)
¹ナナコイ [nanak¹oi] (七鉢)
¹ヤッコイ [jak¹oi] (八鉢)
¹クヌコイ [kunuk¹oi] (九鉢)
 トウッコイ [tuk¹oi] (十鉢)
 トウーチュッコイ [tu:tu¹ukk¹oi] (十一鉢)

3) 牛を闘わせるときの回数の数え方

闘牛で、牛を闘わせる場合の数え方。

チュブリ [tʃuburi] (一回)
 タブリ [taburi] (二回)
 ミブリ [miburi] (三回)

ユブリ [juburi] (四回)
¹イチブリ [ʔitʃiburi] (五回)
 ムブリ [muburi] (六回)
¹ナナブリ [nanaburi] (七回)
 ヤブリ [jaburi] (八回)
 クヌブリ [kunuburi] (九回)
 トウブリ [tuburi] (十回)

2.8 その他

1) 食事の数え方 (～食)

食事一回分を、チュクレーと数える。一食、二食…と数える場合。

チュクレー [tʃukure:] (一食)
 タクレ [takure] (二食)
 ミクレ [mikure] (三食)
 ユクレ [jukure] (四食)

¹イチクレ [ʔitʃikure] (五食)
 ムクレ [mukure] (六食)
¹ナナクレ [nanakure] (七食)
 ヤクレ [jakure] (八食)
¹クヌクレ [kunukure] (九食)
 トウクレ [tukure] (十食)

2) 食事の載ったお膳の数え方 (～膳)

ジヌは膳のこと。一膳、二膳…と数える。

チュジヌ [tʃu^dʒinu] (一膳)
 タジヌ [ta^dʒinu] (二膳)
 ミジヌ [mi^dʒinu] (三膳)
 ユジヌ [ju^dʒinu] (四膳)
¹イチジヌ [ʔitʃi^dʒinu] (五膳)
 ムジヌ [mu^dʒinu] (六膳)
¹ナナジヌ [nana^dʒinu] (七膳)
 ヤジヌ [ja^dʒinu] (八膳)
¹クヌジヌ [kunu^dʒinu] (九膳)
 トウジヌ [tu^dʒinu] (十膳)

3) 箸の数え方 (～膳)

一対の箸を、一膳、二膳…と数える場合。

- ¹チュッティ [tʃutti] (一箸)
¹タッティ [tatti] (二箸)
 ミッティ [mitti] (三箸)
 ユッティ [jutti] (四箸)
 イッティ [ʔitti] (五箸)
 ムッティ [mutti] (六箸)
¹ナナティー [nanati:] (七箸)
¹ヤッティー [jatti:] (八箸)
¹クヌティ [kunuti] (九箸)
 トウッティ [tutti] (十箸)
 トウーチュッティ [tu:tʃutti] (十一箸)
 4) 盃一杯分の数え方 (～盃)
 酒 (泡盛) の入った盃を、一盃、二盃…と数える場合。
¹チュサジキ [tʃusa^dʒiki] (一盃)
¹タサジキ [tasa^dʒiki] (二盃)
 ミサジキ [misa^dʒiki] (三盃)
 ユサジキ [jusa^dʒiki] (四盃)
 イチサージキ [ʔitʃisa:^dʒiki] (五盃)
 ムサジキ [musa^dʒiki] (六盃)
¹ナナサージキ [nanasa:^dʒiki] (七盃)
 ヤサジキ [jasa^dʒiki] (八盃)
 クヌサージキ [kunusa:^dʒiki] (九盃)
 トウサジキ [tusa^dʒiki] (十盃)
 5) ご飯など一杯分の数え方 (～杯)
 ご飯やお茶を碗に一杯、二杯…と数える場合。チャンバルは、茶碗のこと。
¹チュチャンバル [tʃutʃambaru] (一杯)
 タチャンバル [tatʃambaru] (二枚)
 ミチャンバル [mitʃambaru] (三杯)
 ユチャンバル [jutʃambaru] (四杯)
¹イチチャンバル [ʔitʃitʃambaru] (五杯)
 ムチャンバル [mutʃambaru] (六杯)
¹ナナチャンバル [nanatʃambaru] (七杯)

ヤチャンバル [jatʃambaru] (八杯)

¹クヌチャンバル [kunutʃambaru] (九杯)

トウチャンバル [tu:tʃambaru] (十杯)

6) 料理の品数の数え方 (～品)

料理の種類を一品、二品…と数える場合。

¹チュシニヤ [tʃuʃiɲa] (一品)

タシニヤ [[taʃiɲa] (二品)

ミシニヤ [miʃiɲa] (三品)

ユシニヤ [juʃiɲa] (四品)

イチシニヤ [ʔitʃiʃiɲa] (五品)

ムシニヤ [muʃiɲa] (六品)

¹ナナシニヤ [nanasiɲa] (七品)

¹ヤシニヤ [jaʃiɲa] (八品)

¹クヌシニヤ [kunusiɲa] (九品)

トウシニヤ [tuʃiɲa] (十品)

7) 皿数の数え方 (～皿)

料理が入っている皿を、一皿、二皿…と数える場合。

¹チュサラ [tʃusara] (一皿)

¹タサラ [tasara] (二皿)

ミサラ [misara] (三皿)

ユサラ [jusara] (四皿)

¹イチサラ [ʔitʃisara] (五皿)

ムサラ [musara] (六皿)

¹ナナサラ [nanasara] (七皿)

ヤサラ [jasara] (八皿)

¹クヌサラ [kunasara] (九皿)

トウサラ [tusara] (十皿)

¹トウーチュサラ [tu:tʃusara] (十一皿)

8) 料理の入った井の数え方 (～井)

料理の入った井を、一個、二個…と数える場合。

¹チュドゥンブリ [tʃudumburi] (一井)

¹タドゥンブリ [tadumburi] (二井)

¹ミドゥンブリ [midumburi] (三井)

- ¹ユドゥンブリ [judumburī] (四井)
¹イチドゥンブリ [ʔitʃidumburī] (五井)
¹ムドゥンブリ [mudumburī] (六井)
¹ナナドゥンブリ [nanadumburī] (七井)
¹ヤドゥンブリ [jadumburī] (八井)
クヌドゥンブリ [kunudumburī] (九井)
トゥドゥンブリ [tudumburī] (十井)
- 9) 桶の数え方
頭にのせて運ぶときの桶を、一杯、二杯…と数える場合。水や肥料についていう。
タンゲは、「桶」の意。
チュタンゲ [tʃutaggu] (一桶)
タタンゲ [tataggu] (二桶)
ミタンゲ [mitaggu] (三桶)
ユタンゲ [jutaggu] (四桶)
イチタンゲ [ʔitʃitaggu] (五桶)
ムタンゲ [mutaggu] (六桶)
ナナタンゲ [nanataggu] (七桶)
ヤタンゲ [jataggu] (八桶)
クヌタンゲ [kunutaggu] (九桶)
トゥータンゲ [tu:taggu] (十桶)
- 10) 樽の数え方 (～樽)
しょう油の樽などを、一樽、二樽…と数える場合。砂糖の樽は、別の数え方がある。
チュタル [tʃutaru] (一樽)
タタル [tataru] (二樽)
ミタル [mitaru] (三樽)
ユタル [jutaru] (四樽)
¹イチタル [ʔitʃitaru] (五樽)
ムタル [mutaru] (六樽)
¹ナナタル [nanataru] (七樽)
¹ヤタル [jataru] (八樽)
クヌタル [kunutaru] (九樽)
トゥタル [tutaru] (十樽)
- 11) 瓶の数え方 (～瓶)

みそ入りの瓶などを、一瓶、二瓶…と数える場合。

- チュカミ [tʃukami] (一かめ)
タカミ [takami] (二かめ)
ミカミ [mikami] (三かめ)
ユカミ [jukami] (四かめ)
イチカミ [ʔitʃikami] (五かめ)
ムカミ [mukami] (六かめ)
ナナカミ [nanakami] (七かめ)
ヤカミ [jakami] (八かめ)
クヌカミ [kunukami] (九かめ)
トゥカミ [tukami] (十かめ)

12) 卵の数え方 (～個)

ファトゥ (鳥類一般) の卵を、一個、二個…と数える場合。

- チュフ [tʃuɸu] (一個)
タフ [taɸu] (二個)
ミフ [miɸu] (三個)
ユフ [juɸu] (四個)

¹イチフ [ʔitʃiɸu] (五個)

¹ムフ [muɸu:] (六個)

¹ナナフ [nanaɸu:] (七個)

¹ヤフ [jaɸu:] (八個)

¹クヌフ [kunuɸu] (九個)

トゥフ [tuɸu:] (十個)

トゥーチュフ [tu:tʃuɸu] (十一個)

トゥータフ [tu:taɸu] (十二個)

13) みかんの袋の数え方 (～袋)

みかんの中味の袋を、一袋、二袋と数える場合。

チュク¹ン [tʃukuɳ] (一袋)

タクン [takuɳ] (二袋)

ミックン [mikkun] (三袋)

ユックン [jukkun] (四袋)

¹イチク¹ン [ʔitʃikuɳ] (五袋)

- ¹ムック¹ン [mukkun̄] (六袋)
¹ナナク¹ン [nanakun̄] (七袋)
¹ヤック¹ン [jakkun̄] (八袋)
¹クヌク¹ン [kunukun̄] (九袋)
 トックン [tukun̄] (十袋)
¹トゥーチュック¹ン [tu:tjukun̄] (十一袋)
 14) 竹などの節や、歌の数え方 (～節)
 竹や、砂糖黍の節を、一節、二節…と数える場合。
 歌の場合は、一曲、二曲…と数える場合も、一小節、二小節…と数える場合を含む。
¹チュフシ [tʃuɸuɸi] (一節)
¹タフシ [taɸuɸi] (二節)
¹ミフシ [miɸuɸi] (三節)
 ユフシ [juɸuɸi] (四節)
¹イチフシ [ʔitʃiɸuɸi] (五節)
¹ムフシ [muɸuɸi] (六節)
¹ナナフシ [nanaɸuɸi] (七節)
 ヤフシ [jaɸuɸi] (八節)
¹クヌフシ [kunuɸuɸi] (九節)
 トッフシ [tuɸuɸi] (十節)
 15) 踊りの数え方
 一曲分全体で一踊りと数える。
¹チュクデ [tʃukude] (一踊り)
 タクデ [takude] (二踊り)
 ミクデ [mikude] (三踊り)
 ユクデ [jukude] (四踊り)
¹イチクデ [ʔitʃikude] (五踊り)
 ムクデ [mukude] (六踊り)
 ナナクデ [nanakude] (七踊り)
 ヤクデ [jakude] (八踊り)
 クヌクデ [kunukude] (九踊り)
 トックデ [tukude] (十踊り)
 16) 口に入れる、言葉にするなどの～の
 の数え方。

「一口に食べる」という場合の一口、二口…という数え方。また、「一言、口をきく」などの、一言、二言…の数え方。

- チュクチ [tʃukutʃi] (一口)
 タクチ [takutʃi] (二口)
 ミクチ [mikutʃi] (三口)
 ユクチ [jukutʃi] (四口)
¹イチクチ [ʔitʃikutʃi] (五口)
¹ムクチ [mukutʃi] (六口)
¹ナナクチ [nanakutʃi] (七口)
¹ヤクチ [jakutʃi] (八口)
¹クヌクチ [kunukutʃi] (九口)
 トックチ [tukutʃi] (十口)
 17) 鳥の数え方 (～羽)

ファトゥ (鳥一般) の数え方。また、葉っぱもこのように数える。ふだん草、木の葉、イゴバシャ (くわず芋) などの物を包むのに用いる葉を、チュファ、タファのように数える。

- チュファ [tʃuɸa] (一羽)
 タファ [taɸa] (二羽)
 ミファ [miɸa] (三羽)
 ユファ [juɸa] (四羽)
¹イチファ [ʔitʃiɸa] (五羽)
 ムファ [muɸa] (六羽)
¹ナナファ [nanaɸa] (七羽)
 ヤファ [jaɸa] (八羽)
¹クヌファ [kunuɸa] (九羽)
 トッフファ [tuɸa] (十羽)
¹トゥーチュファ [tu:tʃuɸa] (十一羽)
¹トゥータファ [tu:taɸa] (十二羽)

18) 帯の数え方 (～本)

サジ (よそ行き用のきれいな帯) を数える場合。キービ (普段着の帯) は、ティーチ、ターチと数える。

チュサジ [tʃusa^dʒi] (一本)

タサジ [tasa^dʒi] (二本)

ミサジ [misa^dʒi] (三本)

ユサジ [jusa^dʒi] (四本)

¹イチサジ [ʔitʃisa^dʒi] (五本)

ムサジ [musa^dʒi] (六本)

ナナサジ [nanasa^dʒi] (七本)

ヤサジ [jasa^dʒi] (八本)

クヌサジ [kunusa^dʒi] (九本)

トゥサジ [tusa^dʒi] (十本)

19) はき物の数え方 (～足)

下駄, ぞうり, 靴, わらじなどを, 一足, 二足…と数える場合。

¹チュッシャ [tʃuʃʃa] (一そく)

¹タッシャ [taʃʃa] (二そく)

ミッシャ [miʃʃa] (三そく)

¹ユッシャ [juʃʃa] (四そく)

¹イチシャ [ʔitʃiʃa] (五そく)

ムシャ [muʃa] (六そく)

¹ナナシャ [nanaʃa] (七そく)

ヤシャ [jaʃa] (八そく)

¹クヌシャ [kunuʃa] (九そく)

トゥシャ [tuʃa] (十そく)

20) 糸の数え方 (～かせ)

絹などの糸束を数える場合。

¹チュカシ [tʃukaʃi] (一かせ)

タカシ [takaʃi] (二かせ)

ミカシ [mikaʃi] (三かせ)

ユカシ [jukaʃi] (四かせ)

¹イチカシ [ʔitʃikaʃi] (五かせ)

ムカシ [mukaʃi] (六かせ)

¹ナナカシ [nanakaʃi] (七かせ)

ヤカシ [jakaʃi] (八かせ)

¹クヌカシ [kunukaʃi] (九かせ)

トゥカシ [tukaʃi] (十かせ)

21) 舟の数え方

はしけの数を, 一そう, 二そう…と数える場合の数え方。ティンマは, 伝馬舟の伝馬の意。

¹チュティンマ [tʃutimma] (一伝馬)

タティンマ [tatimma] (二伝馬)

ミティンマ [mitimma] (三伝馬)

ユティンマ [jutimma] (四伝馬)

¹イチティンマ [ʔitʃitimma] (五伝馬)

ムティンマ [mutimma] (六伝馬)

¹ナナティンマ [nanatimma] (七伝馬)

ヤティンマ [jatimma] (八伝馬)

¹クヌティンマ [kunutimma] (九伝馬)

トゥティンマ [tutimma] (十伝馬)

3. 漢語系の数え方

漢語系の一から十までの数え方は, 次の通り。

方言の特色を表す接尾辞は, 主に和語系の数え方につくことが多く, 漢語系のものにつくものは少ない。新しく入ってきた単位には漢語系の数字が用いられるという傾向がみられる。これも, 一種の共通語化と考えることができよう。

イ¹チ [ʔitʃi] (一)

ニ¹ー [ni:] (二)

¹サン [saŋ] (三)

シー [ʃi:] (四)

ゴー [go:] (五)

¹ロク [roku] (六)

¹シチ [ʃitʃi] (七)

¹ハチ [hatʃi] (八)

クー [ku:] (九)

ジュー [dʒu:] (十)

1) 漢語系の数え方を用いる例

〇一もんめ (重さ)

- ¹イチモンメ [ʔit̚jimomme] (一もんめ)
¹ニモンメ [nimomme] (二もんめ)
 サンモンメ [sammomme] (三もんめ)
 ヨンモンメ [jomomme] (四もんめ)
 ゴモンメ [gomomme] (五もんめ)
¹ロクモンメ [rokumomme] (六もんめ)
¹ナナモンメ [nanamomme] (七もんめ)
¹ハチモンメ [hat̚jimomme] (八もんめ)
 キューモンメ [kju:momme] (九もんめ)
 ジューモンメ [d̚gu:momme] (十もんめ)

〇一丁 (砂糖の樽) → 樽の数え方

- イチョー [ʔit̚fo:] (一丁)
 ニチョー [nit̚fo:] (二丁)
¹サンチョー [sant̚fo:] (三丁)
¹ヨンチョー [jont̚fo:] (四丁)
 ゴチョー [got̚fo:] (五丁)
¹ロクチョー [rokut̚fo:] (六丁)
¹ナナチョー [nanat̚fo:] (七丁)
¹ハッチョー [hatt̚fo:] (八丁)
¹キューチョー [kju:t̚fo:] (九丁)
¹ジュッチョー [d̚gutt̚fo:] (十丁)
 2) 二, 四, 六, 八, 十の数え方
 ニ¹ー [ni:] (二)
 シ¹ー [ʃi:] (四)
 ロ¹ク [roku] (六)
 ハ¹チ [hat̚ʃi] (八)
 ジュ¹ー [d̚gu:] (十)

注1. この資料は、昭和59年度文部省科学研究費補助金、総合研究A「東京方言基礎語彙と諸方言との比較研究」(研究代表者平山輝男)に参加して得たものである。

注2. 資料の表記(音韻的カナ表記)は、久野 真・大野真男氏の解釈『奄美方言基礎語彙の研究』(昭和61年、角川書店、平山輝男編)による。但し、音声表記は、話者の発音のままとし、[dz-, dʒ-], 喉頭化子音、無声化などについての統一はしなかった。

注3. アクセントは、第1拍の直前に「さがりめ」のある型に、抬頭現象がみられた。特に、女性の話者に多く観察された。資料には、抬頭現象をそのまま記した。

注4. 共通語の接尾辞の説明は、『例解新国語辞典』(林四郎他編・三省堂)によった。

酷暑の中、貴重な方言を教えて下さった話者の方々と、いろいろとお世話下さった知名町役場・教育委員会の方々にお礼を申し上げます。